

# DVがおこる背景

## ～女性の経済格差～

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、主に男性から女性への暴力をいいます。この「ことば」が生まれた背景には、1970年代アメリカの女性たちの暴力根絶運動があり、その後この運動は世界各国へと広がっていきました。

日本でも、DVという「ことば」が使われるようになってからは、今まで夫婦喧嘩は家庭内の問題として見過ごされてきたことが、「暴力」と、とられるようになってきました。

そして、DVは深刻な人権侵害であり、犯罪であるとの認識から、社会全体で取り組まなければならぬ重大な問題とされ、法のもとに被害者たちが、保護されるようになったのです。

2001年10月「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV防止法）が施行され、その前文には「被害者は多くの場合女性であり、経済的自立が困難である女性に対して配偶者が暴力を加えることは、個人の尊厳を害し、男女平等の妨げとなっている」とあ

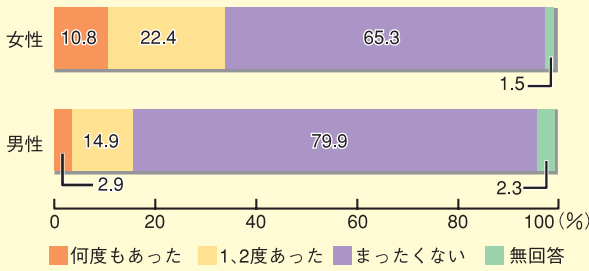
ります。

しかしこの20年間をみても男女の経済的格差はさほど縮まらず、女性の貧困問題も大きな課題となっています。

その後、DV防止法は見直しが重ねられていますが、現在もDV被害は減るどころか、より深刻かつ複合的になってきたといわれています。

（伊藤）

図5 配偶者からの暴力



配偶者（事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含む）からこれまでに「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことが「何度もあった」という人は、女性では10.8%、男性では2.9%となっています。

参考：内閣府「男女間における暴力に関する調査」平成20年度より作成。

## まとめ

「Ms.スクエア」創刊から20年たった今、男女平等の意識はどのように変化しましたでしょうか。テレビや新聞でも「イクメン」という言葉が使われたり、世論調査などで、性別役割分担に対する意識変化が見られるようになりました。しかし現実には男女平等とはいえない状況にあるようです。

こうした男女の平等を阻んでいる問題の一つに労働があります。実際、非正規雇用の女性は多く、賃金などにも男女格差があります。

そして女性は仕事に加えて、家事、育児、介護などの無償労働を担っている状態が多くみられます。これは現在の社会システムが税金や年金制度などを含め、未だに男性は仕事、女性は家庭を守るべきという性別役割分担を前提としているからではないでしょうか。

そのため、特に女性は経済困難になりやすい状況にあるのです。そしてこうした格差はそのまま、将来の貧困や年金受給額の低さなどへ繋がります。事実、ここ数年女性の一人世帯は増加していますし、一人暮らしの高齢女性は、すでに厳しい現実に向き合っています。

ごく当たり前と感じていること、たとえば男性では「仕事だから仕方がない」ですまされることも、女性だと「家事は、育児は」などと批判的にみているのではないのでしょうか。

「Ms.スクエア」はこれからも「清瀬市男女平等推進条例」を基本とし、身近な事柄を通して男女平等な社会を目指すための情報を、発信していきたいと考えています。

（木下）



2005 (平成17)	2004 (平成16)	2003 (平成15)	2002 (平成14)	2001 (平成13)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第二次男女共同参画基本計画」閣議決定</li> <li>・清瀬市の単独世帯数、平成12年より2000以上増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男女平等に関する市民意識・実態調査」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「次世代育成支援対策推進法」「少子化社会 対策基本法」成立</li> <li>・清瀬市の人口7万人台に到達</li> <li>・「配偶者からの暴力対策連絡協議会」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「清瀬市男女平等推進委員会」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV防止法）施行</li> <li>・第1回男女共同参画週間</li> </ul>
<p>54号 結婚しない？人たちが</p> <p>55号 10周年を迎えたファイレック ～サポーターに支えられて～</p>	<p>50号 変わったこと、変わらないこと</p> <p>51号 「男女平等意識・実態調査」から見えてきたもの</p> <p>52号 DV防止法改正 ドメスティック・バイオレンスについて考える</p>	<p>47号 女性のネットワークを生かして 「一人ひとりの思いを」NPOへ</p> <p>48号 価値観を変えてみよう</p> <p>49号 高齢社会を迎えて ひとり暮らしを支える</p>	<p>45号 日常生活の中で感じる「何かへん」</p> <p>44号 夫婦別姓を考える</p> <p>43号 “お墓”からみる女性の生き方 現代お墓事情</p> <p>42号 育児期のストレスと更年期のからだ 一節目を迎えたわたしたちへ！</p>	<p>41号 クオータ制ってなあに？</p> <p>40号 その時をもっと自分らしく生きる 一住宅を通して自立した老後を考える</p> <p>39号 DV「夫や恋人による女性への暴力 逃げられないのはなぜ？」</p> <p>38号 21世紀 住みよい地域をつくるために エコマネー（地域通貨）</p>
		<p>第46号</p>		